

レイズネクスト 2025 年 3 月期 決算説明会質疑応答

■日 時：2025 年 5 月 21 日（水）15：00～15：50

■主な質疑内容

Q 協力会社との今後の体制について、施工主体の御社では動員力が求められると思うが、協力会社との関係について教えて頂きたい。特に協力会社は中小零細企業も多く、事業継続が難しいとの声も聞かすが、M&A など考えているか。

A 協力会社との対話の機会を増やすため、社内でワーキングチームを立上げ、各社が何を望んでいるのかヒアリングする機会を設けている。その中では後継者問題も聞こえてくるが、当社との協業なども視野に入れて検討している。

また、各社作業員そのものが不足しているため、当社の教育センターを利用した教育の取り組みや、インドネシアの子会社より溶接工を招聘し協力会社へ紹介するなど、外国人労働者の受け入れ支援なども行っている。

Q 協力会社支援については、同業他社では M&A 予算を公表している会社もあるが御社はどうか？

A 具体的に M&A 費用としては公表していないが、そういったことも選択肢の一つとは考えられる。

Q 第 3 次中計の取り組みの中で、エンジニアリングでの AI 活用とあったが、具体的にどのようなことを想定しているのか。

A 当社では設計に係らず全社的に生成 AI の活用を推進している。各部門通常業務の中で生成 AI の活用に取り組んでおり、設計、施工においても同様に取り組んでいるが、特に最近書類への記載ミスが多いため、チェックに活用できないかを考えている。また施工に於いてベテランのノウハウを AI に学習させ活用することも考えている。

Q AI の導入によってエンジニアが考えなくなる、との声も聞こえるがそのあたりはどうか。

A 本人の技能が上がらないので、特に若手については、まずは自分でやってみてその後のチェックを AI で行うようお願いしている。

以 上